

コンクリート工事施工計画書 (建築基準法第 12 条第 5 項、横浜市施行細則第 17 条の 3)

提出日	年 月 日					
建築主	住所 氏名					
工事監理者	住所 資格 () 級建築士事務所(大臣・知事) 登録 第 号 (電話)					
	事務所 資格 () 級建築士 (大臣・知事) 登録 第 号					
工事施工者	住所 資格 建設業の許可(大臣・知事) 登録 第 号 (電話)					
	会社名	代表者名			印	
工事概要	工事名称					
	建築確認番号	年 月 日 第 号			号	
		当初確認番号 ()				
	建築場所					
	構造	造	規模	地上 / 地下 階、	延面積 m ²	
設計かぶり 厚さ (c m)	部 位	土に接しない部分			土に接する部分	
	柱	屋外		屋内		
	屋根版	上端		下端		
	床版	上端		下端		
	はり	屋外		屋内		
	耐力壁	屋外		屋内		
	非耐力壁	屋外		屋内		
圧送従事者	氏名				会社名	
	安全衛生法の特別教育	修了	・	未修了	会社住所	
	コンクリート圧送施工技能士	1 級	・	級 ・ 無	会社電話	
圧送・配置計画	検討中・承認済み (年 月 日) (ポンプと打設面の関係、 ポンプ、 ミキサー車、 など)					
使用材料	セメント	品名・(種別)・製造工場	混和材料	品名・(種別)	製造会社・工場名	
					JIS 表示許可番号	工事現場までの所要時間
	細骨材	産地	アルカリ骨材反応 試験方法・判定	粗骨材	産地	アルカリ骨材反応 試験方法・判定
		産地 □川砂 □山砂 □陸砂 □砕砂 □海砂	合・否 否の場合は次頁のアルカリ 骨材反応対策を「有」にし てその方法を記入すること		産地 □川砂 □山砂 □陸砂 □砕砂	合・否 否の場合は次頁のアルカリ 骨材反応対策を「有」にし てその方法を記入すること

調 合 計 画	番号	打設部位	打設時期	コンクリートの種類	設計強度 (N/mm ²)	呼び強度 (N/mm ²)	スラップ ^o (cm)	空気量 (%)	水セメント比 (%)	単位水量 (kg/m ³)	細骨材率 (%)	
	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
	6											
	7											
打 込 計 画 等	調査計画番号											
	打設箇所											
	打設年月日											
	打込容積 (m ³)											
	打込方法											
	予定試験回数											
	容積計			普通		m ³	軽量		m ³	合計	m ³	
鉄 筋 の 継 手	□圧接継手		使用箇所		試験方法			抜取検査	ロットの大きさ	箇所		
									サンプリング数	箇所		
	□溶接継手(方法)		使用箇所		試験方法			抜取検査	ロットの大きさ	箇所		
									サンプリング数	箇所		
□機械式継手(方法)		使用箇所		試験方法			抜取検査	ロットの大きさ	箇所			
									サンプリング数	箇所		
コン クリ ート 劣 化 対 策	塩化物量の予測					塩害対策 (有・無)						
	() 0.3kg/m ³ 以下					() 調 合 (W/C %、スラップ cm)						
	() 0.3kg/m ³ を超え 0.6kg/m ³ 以下					() 防せい剤 ()						
	() 0.6kg/m ³ を超える					() 床下端の鉄筋のかぶり厚さ cm						
	() その他 ()					() その他 ()						
	塩害の要因 (有・無)					アルカリ骨材反応対策 (有・無)						
() 海砂					() 無害骨材の使用							
() 練り混ぜ水					() 低アルカリ形セメントの使用							
() その他 ()					() アルカリ総量 kg/m ³ 以下							
					() 混合セメントの使用							
混和剤					() その他 ()							
塩分量					合 ・ 否							
全アルカリ量					合 ・ 否							